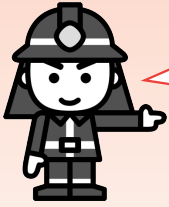




消防だよい

2024.3
第57号

川越地区消防組合



全国一斉に春の火災予防運動が始まります
実施期間:3月1日(金)~3月7日(木)

あなたの大切な命を守ります。
3ポイントで
住宅用火災警報器は

①設置
取付簡単!

②点検
定期にチェック!

③交換
10年でチェンジ!

いのちを守る
3ポイントシュート
決まった!

詳しくは… <https://www.119kawagochiku.jp>
川越地区消防局、川越地区住宅用火災警報器設置・維持管理対策協議会

春も火災に気を付けましょう!!

1年を通して、火災が多く発生する時期はいつだと思いますか?暖房機器を使う寒い冬に多く発生すると思うかもしれませんが、意外にも暖かい春の3月に火災が多く発生しています。

春先は、冬よりも空気が乾燥する日が多く、1年の中でも風が強い季節のため、一度火災が発生すると火災が拡大し、被害が大きくなる傾向があります。このため、春の火災予防運動が3月1日(金)から3月7日(木)まで、全国で実施されています。

住宅用火災警報器の設置・点検・交換を行いましょう!

住宅火災による死者の半数以上は、就寝中の火災発生による逃げ遅れです。このため、火災の早期発見に有効な住宅用火災警報器の設置が義務化されています。

- ①設置 住宅用火災警報器を次の場所に設置しましょう。
・寝室、寝室がある階の階段の踊り場
- ②点検 住宅用火災警報器を点検しましょう。
- ③交換 古い住宅用火災警報器は交換しましょう。

消防局予防課 TEL 222 - 0744

地震による電気火災対策を！

ご存じですか？地震による火災の過半数は電気が原因という事実…

地震が引き起こす電気火災とは？

地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災のことです。

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうちの過半数が電気関係の出火でした。

感震ブレーカーが効果的です！

地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める感震ブレーカーには、様々な種類があり自宅に合うものを設置できます。

感震ブレーカーを設置して電気火災から「家」・「地域」を守りましょう。

【総務省 感震ブレーカー資料】



消防局予防課 Tel.222 - 0744

食品の家庭備蓄は大丈夫？ 3月1日は「防災用品点検の日」

季節の変わり目の時期である3、6、9、12月の1日は防災用品点検の日に制定されています。

防災グッズなどの準備は万端だとしても、災害時に備えた食品の備蓄はいかがでしょうか。「何からはじめればいいのか分からない」と、つつい先延ばしになってはいませんか。

そこで参考にしたいのが、農林水産省のホームページです。食品の家庭備蓄を日常の一部として無理なく取り入れる方法や乳幼児、高齢者、慢性疾患・食物アレルギーの方などに向けて家庭備蓄を行う際に必要な情報が紹介されています。ぜひ、この機会に家庭備蓄を始めましょう。

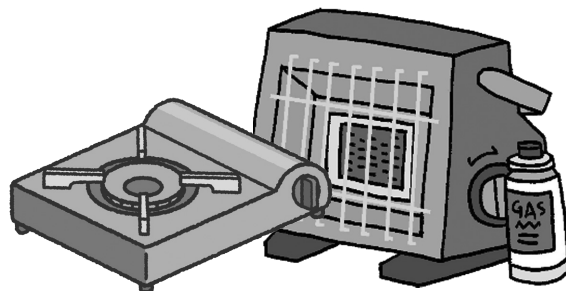


【農林水産省 家庭備蓄ポータル】



熱源の確保も忘れずに！

熱源を確保すれば災害時の食の選択肢が大幅に広がります。地震などの災害発生後、電気・ガスが普及していない場面で、温め・沸かす・調理をするのに、カセットコンロが便利です。お湯を用意できればレトルト食品やカップ麺、袋麺、フリーズドライのスープ、パスタなど食べられる食品の幅を広げてくれます。湯を沸かせるやかんや鍋なども用意しておきましょう。カセットボンベで使えるガスストーブを備えておけば暖を取ることもできますよ。



消防局総務課 Tel.222 - 0741

第21回救助隊員資格認定訓練を実施しました。

この訓練は、災害現場で最も危険な最前線で活動する救助隊員の育成を目的としており、指導員の厳しい指導のもと、参加を希望した14名の隊員が訓練を実施しました。

《実施期間：令和5年11月21日～令和5年12月7日》



高所にいる負傷者を担架とロープを使用し、地表へ降ろし救出する訓練です。



交通事故などで負傷者が車の下敷きになっていた場合に、ジャッキを使用して車両を持ち上げ救出する訓練です。

令和5年度埼玉県第2ブロック 緊急消防援助隊合同訓練を実施しました。

緊急消防援助隊とは、大規模災害（地震・風水害など）や特殊な災害が発生し、被災地の消防機関では対処できない場合に、全国の消防本部や航空隊が応援に駆けつける部隊のことをいいます。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対しても、多くの応援部隊が出動し活動しています。

今回の訓練では、県内南西部に位置する7消防本部が参加し、緊急消防援助隊派遣時の迅速な出動体制を確立し、連携活動の強化を図ることができました。

《実施日：令和5年12月15日》



複数の消防本部が連携し活動するため、綿密に情報共有を行います。



倒壊した立体駐車場の車両から傷病者を救出する訓練です。

消防局警防課 Tel 222 - 5891



消防隊・救急隊・救助隊がある
川越中央消防署の様子
「今日は20人分作るぞ~!!」



消防めし 本日はつけ汁うどん

いつ災害出場するかわからない中、消防職員は毎日自炊をしています。さまざまなメニューの中から今回は職員に人気の「つけ汁うどん」を紹介します。豚肉、油揚げ、長ねぎの美味しさが詰まったつけ汁に、

ごま油の香ばしい風味がアクセントになっています。一緒に作り、食べることでチームワークを深め、日々災害対応に備えています。

川越中央消防署消防課
Tel 242 - 2365

川越市消防団だより

第13号

消防局総務課 Tel 222 - 0741

川越市消防団では新型コロナウイルスの第5類感染症への移行を受けて、これまで開催が見送られてきた市内や受持地区における行事や活動を徐々に再開させることができました。

長く続いた自粛期間中は、火災出動や予防広報などの消防団の基本となる活動を中心に、地域の実情を理解している消防団だからこそできる活動は何かを考えながら、消防団ならびに団員を取り巻く状況の変化にも対応してまいりました。この1年間に実施した活動の一端を紹介いたします。

① 消防フェスタに参加

令和5年11月18・19日、川越地区消防組合設立50周年を記念してウエスタ川越で開催された消防フェスタに川越地区消防組合の一員として参加し、消防団活動の紹介などを行いました。

今回の参加に向けて、活動を紹介するパネルの作成やバルーンアートの練習などを行い、開催当日は放水体験コーナー、パネル展示ブースなどでたくさんの来場者の皆さまと交流ができ、消防団の活動について知っていただくことができました。



会場入口での受付



パネル展示ブース



放水体験コーナー



トラ吉くん



発煙筒の使用体験



車両感覚をつかむ訓練

③ 災害対応訓練（祭礼警戒）

令和5年9月24日と10月1日、川越まつりでの警戒活動に備え、災害対応訓練を実施しました。

川越市消防団は、川越まつりの交通規制区域内を巡回警戒し救急搬送の支援や火災対応を行うことを任務としています。

団員が急病人やけが人と遭遇することを想定して、現場で確認すべき項目や応急処置の手順、無線通信の要領などを確認し、万全の体制をとることができました。



団長による訓示



応急処置について学ぶ

② 消防ポンプ車による安全運転研修

令和5年2月26日、川島町にある交通教育センターレインボー埼玉にて安全運転研修を実施しました。

近年では運転免許制度の改正や生活スタイルの変化などにより、乗用車しか運転したことがない団員も増えてきています。そのため今回の研修では従来の乗用車による研修ではなく実際の消防ポンプ車等を用いて研修を実施しました。乗車前の点検をはじめ車両特性や運転感覚などを学習し、消防団活動における安全運転の大切さを再確認しました。

④ 消防団員を募集しています！

川越市に在住、在勤、在学の満18歳以上の方で消防団に入りたい方を募集しています。有事の際に災害出動をするほか、イベントなどの行事に参加します。

消防団員は様々な業種の仕事をこなしながら活動しております。県消防課が作成した消防団PR動画に川越市の団員も出演しており活動内容などが載っていますので興味のある方は右のQRコードから是非ご覧ください。消防団に少しでも興味のある方、ご連絡お待ちしております！



分団活動の紹介

◎団本部女性団員

令和5年9月18日、クリアパークで行われたラジオ川越主催による『あそぼうさい！まなぼうさい！』に第二分団と合同で参加しました。

会場内のステージにて心肺蘇生法やAEDの使用方法、簡易担架による搬送訓練などの展示・説明を行いました。

来場者の皆さまと一緒にバケツリレーにも挑戦し、防災への意識を高めていただくことができました。女性団員では今後も工夫をかさね、楽しみながら学べる活動を行ってまいります。



心肺蘇生法の実演



搬送訓練の様子

◎第一分団

令和5年9月17日、氷川町公園にて実施された三町合同防災訓練に参加しました。

第一分団は、消防職員の実施する起震車や煙体験、水消火器体験コーナーなどの運営補助や装備品着装体験などの活動を行い、女性団員は、AEDの使用説明を実施しました。



AED使用説明



装備品の展示と着装体験

◎芳野分団

令和5年11月15日、芳野分団車庫にて芳野小学校3年生とクラブ活動の消防団車庫見学と体験学習会を開催しました。

普段は見られない車庫の内部や、収納された機械器具を見たり触れたりしてもらうことで、消防団への興味と理解を深めてもらうことができました。



消防団員への質問タイム



団員と一緒に着装体験

◎南古谷分団

令和5年12月3日、南古谷小学校で開催された南古谷地区防災訓練に参加し、車両資機材の展示や運営の補助を行いました。

この防災訓練は地域行事として根付いており、毎年度定期的な開催を重ねることで南古谷地区住民の皆さまの防災に対する意識や知識の維持と向上に役立っています。



車両と資機材の展示



煙体験コーナーの補助

◎高階分団

令和5年11月に令和3年度に配置された水災用器具（救命ボート及び排水ポンプ等）の定期点検及び取扱い操作の確認を実施しました。

大型台風や局地豪雨に伴う急激な河川増水や溢水、越水によって水災用器具の運用が必要となった場合に即座に対応できるよう、救命ボートや排水ポンプの組み立てや資機材搬送の訓練を定期的にも実施しています。



夜間照明を使用した訓練



排水ポンプの組み立て

消防団のテントを購入しました

大規模災害等における消防団活動で活用するため、一般社団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源に実施している「コミュニティ助成事業」の助成金を受けて、第一分団、古谷分団、福原分団へテントを整備しました。

今後も消防団の活動環境を強化し、住民の安全・安心を実感できるまちづくりを図ってまいります。



川島町消防団だより

第13号

川島消防署指導課 Tel 297 - 1979

水防訓練を実施しました



近年、大型台風やゲリラ豪雨による水災害が日本各地で大きく取り上げられています。川島町も一級河川に囲まれている地域であるため、河川の増水による堤防の警戒をより一層高めていかなければいけません。そこで、川島町水防団は、令和5年5月28日(日)、出丸地区の堤防にて水防訓練を実施しました。訓練では、木流し、積土嚢、竹とげ、杭ごしらえ等の水防工法を行い、作業能率の向上を図りました。

川島町水防団は、川島住民の皆様には水防に対する協力や理解を求めるとともに、安全・安心に過ごせるよう訓練に努めてまいります。



川島町防災訓練を実施しました

令和5年9月3日(日)川島町の防災訓練が出丸小学校跡地で行われました。最高気温35度の猛暑の中、給水車・大型ミス



ト扇風機が配置され、スポーツリンクの配布など熱中症対策に万全を期した中での訓練となりました。当日は地域の参加者の皆さんが3箇所①水消火器による初期消火訓練②AED(心肺蘇生法)の操作訓練③煙中の避難訓練及びなまず号による地震体験をしました。①では、久しぶりに消火器に触れる人も多く多少の戸惑いもあったようですが、消防署の指導の下改めて正確な消火器の使い方を体験されていました。



②では、初めてAEDの機器を見たという方もおられましたが、女性団員の指導と最新の機器の音声アナウンスによってとてもスムーズに訓練が行われていました。③では、煙が充満した10メートルほどのテントの中を口鼻にハンカチを当てながらなるべく低い姿勢で避難する訓練でしたが、想像を超える大変さに皆さん驚いていた様子でした。なまず号による地震体験では、ちょうど100年前の関東大震災と同じ震度と時間の長さの揺れを体験され、改めて地震の怖さを感じていたようでした。そして最後に第四分団による「倒壊家屋からの救助訓練」の展示が行われていました。指揮者の的確な指示のもと本番さながらの気迫と真剣さに息をのむような場面もあり、最後は見ている人からの大きな拍手で終わりました。災害はいつ襲ってくるのかわかりません。これを機会にもう一度緊急持ち出し袋など日常の備えを確認しておきましょう。

令和5年度消防特別点検

令和5年10月29日(日)川島町にある埼玉県中央防災基地において令和5年度消防特別点検が実施されました。消防特別点検は、消防団員の職務遂行に必要な人員や服装及び機械器具の取り扱いについて点検し、いつ起こるか分からない災害等に備え、常に消防活動に万全に期することを目的としています。新型コロナウイルス感染症の流行が始まって以来、感染拡大防止の観点から特別点検を中止したり、規模を縮小して実施したりと制限をしておりましたが、今年度は出場人員等をコロナ禍以前の規模に戻しての実施となりました。

今年度の消防特別点検には、大野元裕埼玉県知事にもご列席いただき、日々の消防団活動への労いと激励のご祝辞をいただきました。



当日は、服装・規律等の点検、消防団ポンプ車等の機械器具点検、消防団員と消防車両による分列行進及び消防団車両からの一斉放水を行いました。

消防団では、火災や災害活動発生時に地域における防災力の一翼として活動できるよう、日ごろから人員や資器材等を備え、迅速に活動できるよう努めています。

消防団員募集中！

川島町消防団では随時消防団員を募集しています。18歳以上の川島町内に在住・在勤の方、私たちと一緒に活動しませんか？

「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神に基づき、年齢層は幅広く、会社員、自営業者など様々な人が参加して活動しています。詳しくは川島消防署指導課までお問合せください。



女性団員活動の紹介

女性団員は住宅用火災警報器の普及促進、1人暮らしの高齢者の防火訪問、住民に対する防災教育及び応急手当の普及指導などで活躍しています。

地域の防災にあなたのチカラをいかしてみませんか？



川越地区消防組合議会が開催されました。

○令和5年第4回臨時会(令和5年12月27日開会)

議案議決一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第17号	川越地区消防組合消防職員の給与に関する条例及び川越地区消防組合会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	原案可決
議案第18号	川越地区消防局・川越北消防署新築工事請負契約について	原案可決
議案第19号	川越地区消防局・川越北消防署新築電気設備工事請負契約について	原案可決
議案第20号	川越地区消防局・川越北消防署新築空調設備工事請負契約について	原案可決
議案第21号	令和5年度川越地区消防組合一般会計補正予算(第2号)	原案可決

川越地区消防組合設立50周年記念誌を発行します



令和5年4月1日当組合は設立50周年を迎え、令和5年1月1日から12月31日までを記念事業期間とし、消防署体験見学会、消防体験バスツアー、記念式典・消防フェスタ等の事業を実施してきました。

記念事業の一環として、これまで取り組んできた記念事業や当組合の軌跡、活動等を年表や写真などで紹介した「川越地区消防組合設立50周年記念誌」・(別冊マンガ)「憧れのその先に-消防士たちが担うもの-」を3月上旬予定で発行いたします。

こちらは、図書館や右側のQRコードから電子データでも閲覧できますので、ぜひご覧ください。



今後も「安全・安心が実感できるまち」の実現に向け各種事業の推進に努めてまいります。

感謝状を贈呈しました

救急活動の協力に対し、消防局長から感謝状が贈られました。

写真右から
学校法人城北埼玉学園
城北埼玉中学校 小野温音さん
川越中央消防署長 竹内太

写真右から
川越市立大東西中学校
井上実夕さん 嶋みずほさん
関根航太さん

写真左から
森井北斗さん
伊東秀樹さん
消防局長 齋藤匡央



消防局総務課 Tel.222-0741



消防だより 2024.3 第57号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823 川越市神明町48-4 Tel.049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/

Fontworks
UDFont

火事・救急・救助は119番 災害情報テレフォンサービス Tel.049-227-2277 *かけまちがいにご注意ください。